

カーボンニュートラルの今後の取組 への支援について



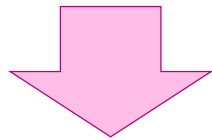
千葉県提案

令和7年10月31日
第88回九都県市首脳会議

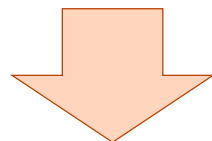
カーボンニュートラルを取り巻く情勢変化

〔情勢変化の内容〕

6次計画では意欲的な
目標設定

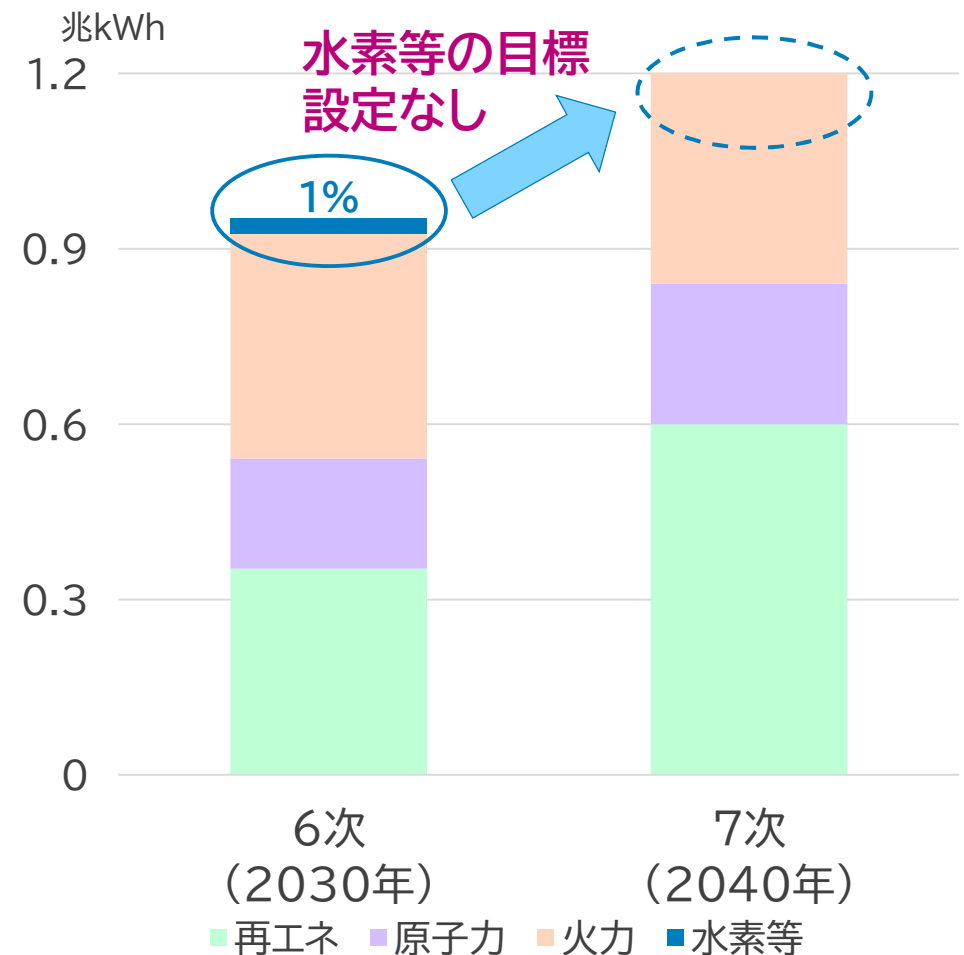


- ・国際的なインフレ
- ・中東情勢の緊迫化



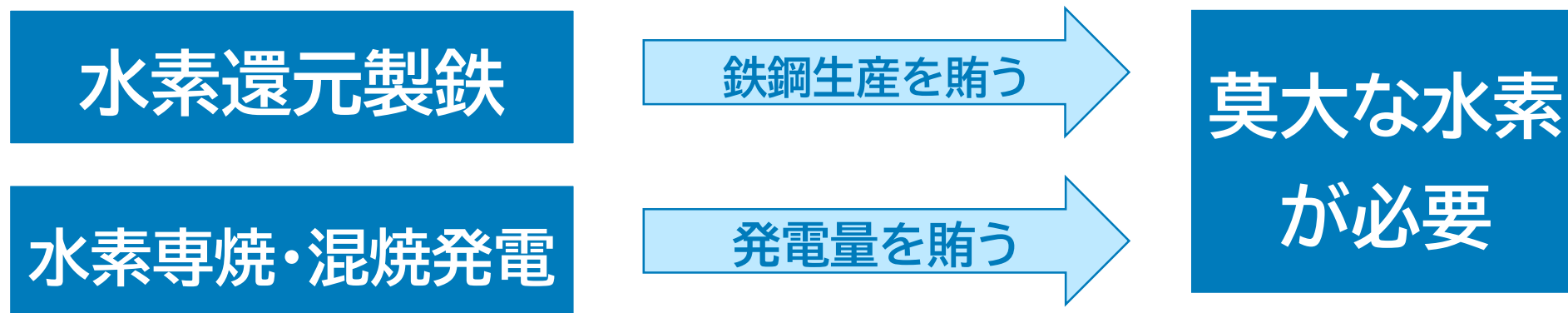
7次計画は現実路線へ

〔電源構成の目標〕



水素等の現状と課題

【主な技術開発状況】



「価格差支援等」の課題



CCSの現状と課題

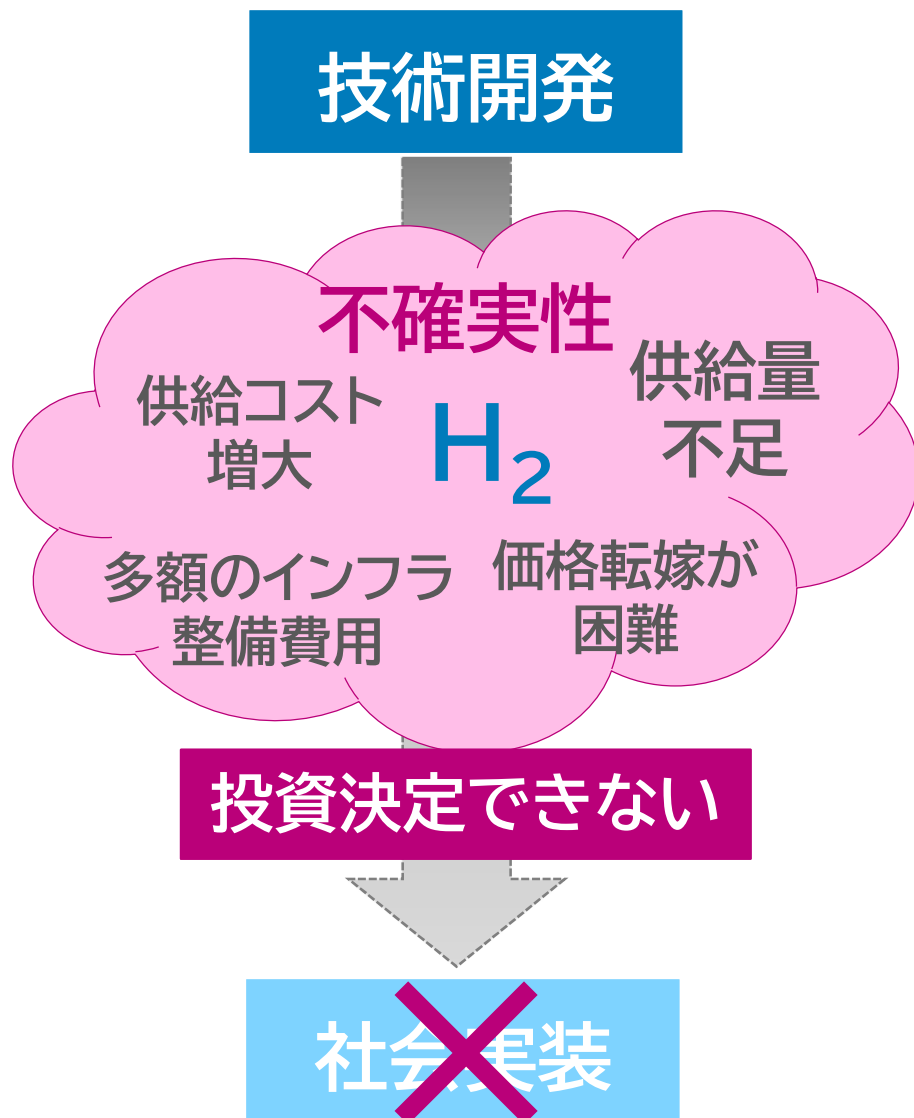
- 先進性のある取組について全国で9案件が選定
- 東京湾岸では2案件が選定

[東京湾岸の選定案件]

輸送方法	案件名	関係企業	支援策の状況
パイプライン	首都圏CCS ※千葉県九十九里沖が 特定区域に指定	  	CO2量に応じて基準価格と 参照価格のコスト差に着目した 支援を検討中
船舶	マレー半島沖 北部CCS	      	今後検討

社会実装へ向けた課題

(現状)



(今後)



要望内容

1. 水素等の安定調達について、2030年度より後に開始する事業に対しても、価格差支援及び拠点整備支援と同趣旨の持続的な制度を創設すること。また、価格転嫁や企業価値の向上など、環境価値が適切に社会に受容される施策を一層推進すること。
2. CCSの事業化に向け、パイプライン輸送の設備投資等に係る支援制度を創設すること。また、船舶輸送に係る支援についても、同様に方針を明示すること。
3. 1及び2の制度構築に向けて、企業の予見可能性を高め事業化や投資を促すため、早期にその検討状況等について明示しながら進めること。